

「周南市庁舎建設基本計画（案）に対する会派の意見」

についての市の考え方

周 南 市

■周南市庁舎基本計画(案)に対する会派の意見等及び市の考え方 (新誠会)

整理 番号	意 見 等
1	<p>大筋で基本計画案には賛成する。</p> <p>これから平成26年度、27年度で基本設計・実施設計づくりに入るが、「基本計画」(案)に示す「検討する」項目等を具体化する過程で、可能な限り議会の意思を反映するための議論を活発にしていくこと。</p>
回答	<p>基本設計の段階で、設計の進捗に応じ、庁舎像を具体化する過程の節目節目において、特別委員会の御意見を伺いながら進めてまいります。</p>

■周南市庁舎基本計画(案)に対する会派の意見等及び市の考え方 (参輝会)

整理 番号	意 見 等
1	【全体計画】議会決議に沿ってフィードバックするとは、どういう形態で、どう議会の意見を集約し反映した計画にするのか。
回答	今回いただいた御意見を検討し、基本計画に掲載すべきことについては反映させてまいります。
2	【全体計画】パブリックコメント、出前トークやもやいミーティングでの意見への回答を示し、議会特別委員会等での議論を経て計画案を示すべきだ。
回答	パブリックコメント、出前トークでは、新庁舎に導入する機能についての具体的アイデアを市民の皆様から提言していただいております。これらの御意見は、設計の段階で検討することとしております。なお、もやいミーティングでの意見への回答については、現在、会議録として公開しているところです。
3	【全体計画】必要床面積20,000㎡は市民利用の会議室を含めて妥当なのか。また、職員数739名に至るまでの間の形態を示すべきだ。
回答	将来的に本庁機能（消防本部除く。）を集約することを前提に、行政サービスに影響のない範囲で執務スペースを設定し、また、会議室を含めた市民利用スペースを確保できる規模として、新庁舎に必要な延床面積を約20,000㎡と設定しております。職員数については、基本構想資料編P17に記載しておりますように、定員適正化計画の目標値を基に算出したものです。
4	【全体計画】94億円の建設経費は、不明な諸々の経費を含めると全体では一体どれだけに膨らむのか。想定されたあらゆる財政計画（歳入・歳出）を示すべきだ。
回答	94億円の中には仮庁舎に要する経費は含めておりませんが、その他の想定できる経費は含めております。これらの経費については、基本計画(案)P32に記載しておりますように、設計を進める中で調整してまいります。

5	<p>【全体計画】東日本復興、東京オリンピックなどと絡み、資材不足、作業員不足また、消費税増税などで、建設単価、総額の大幅な増嵩も予測される。入札の好不調如何によっては計画通りの事業工程になるとは限らないのではないか。</p>
回答	<p>基本計画（案）P32に記載しておりますように、事業を進める中で、経済状況等を踏まえ、事業費等を調整してまいります。</p>
6	<p>【全体計画】耐震構造は当然だが、建設費が嵩む免震装置は取り入れるのか。その建設費及びその後のメンテナンス経費の試算を示すべきだ。</p>
回答	<p>基本計画（案）P32に記載しておりますように、具体的な構造形式については、設計の段階で、コスト等を勘案しながら決定してまいります。</p>
7	<p>【全体計画】地下施設には駐車場を望む声もある。設置の場合の建設費はどうか。</p>
回答	<p>基本計画（案）P6に記載しておりますように、設計の段階で、屋根付き駐車場や地下駐車場を含め、来庁者の利便性や安全性を考慮し、また、建設費も勘案しながら、適切な駐車場の配置を検討してまいります。</p>
8	<p>【全体計画】新庁舎だけのことではなく、新駅ビルや周辺部を含めた公共施設（総合支所・支所・公民館など）の整備・建設方針を具体的に示すべきだ。</p>
回答	<p>地域の拠点となる総合支所や支所、公民館を中心とした地域づくりの推進と、それらで行われている機能や住民サービスについては今後も維持していくことを基本として再配置に取り組むこととし、それを前提として、今後新たな再配置計画を策定していくこととしております。</p> <p>また、新庁舎や新駅ビル等、現在具体的な検討を進めている施設については、新たな再配置計画に取り込み、市全体としての整合性を図りたいと考えております。</p>

9	<p>【全体計画】建設後の市民館跡地の利用はどのようにするのか。計画に明記すべきだ。</p>
回答	<p>基本計画（案）P3に記載しておりますように、市民館跡地の将来的な利用については、公共的な用途とすることを前提としております。</p>
10	<p>【全体計画】基本計画（案）には「検討する」という項目が多数ある。実施しない場合、検討委員会への説明、了承はとるのか。大方の市民の納得の下での計画にすべきだ。</p>
回答	<p>基本計画（案）に記載しております導入機能については、設計の段階で検討するものですので、特別委員会の御意見を伺いながら進めてまいります。</p>
11	<p>【全体計画】これから設置されるという兼職を含む庁内検討会議（？）は職員力が試される。公開での会議運営の上での計画にすべきだ。</p>
回答	<p>兼務職員は、導入機能について検討を行っており、来年度も引き続き検討することとしております。この検討は、庁内検討会議ではなく通常業務でありますことから、公開するものではありませんが、その検討状況については、適宜、特別委員会に報告してまいります。</p>
12	<p>【全体計画】上下水道会計からの負担金約9億円の根拠を示し、上下水道事業や市民生活への影響はどんなものが考えられるか示すべきだ。</p>
回答	<p>基本計画（案）では、上下水道局が使用する面積分として、職員数案分により算出していますが、設計後に、面積案分により精査します。また、上下水道事業や市民生活への影響については、上下水道事業単独庁舎を建設する場合に比べると、合築の方が経済的であり、利便性の観点からも市民の皆様にとって有利であると考えております。</p>
13	<p>【全体計画】合理性の追求だけでは、無機質なランドマークになる。景観に配慮した無駄のない良質なデザイン性は、計画の上で非常に重要な要素・観点になる。</p>
回答	<p>御提言のとおりであると考えます。合理性とデザイン性をバランスよく備えた新庁舎を目指して、設計の段階で検討してまいります。</p>

14	<p>【市民利用スペース関連】市民が利用する会議室は、市全体の利用形態、キャパシティを示すべきだ。(例えば、勤労福祉センターの今後は学び交流プラザに帰属するものとして、新庁舎とは別物という考え方では市民の理解は得られない。)</p>
回答	<p>市民館会議室については、新庁舎内に代替となる面積分の会議室を確保します。なお、その他の市民利用会議室については、新庁舎内を含め市全体として不足する状況にならないように考えてまいります。</p>
15	<p>【市民利用スペース関連】市民利用スペースは複数階に及び、専用EVを備えた専用フロアとなるのか。740㎡で十分な計画か。</p>
回答	<p>配置方法については、設計の段階で具体化してまいります。面積については、ロビー、待合、カフェ・レストラン、売店及び市民利用会議室を想定し740㎡で配置できるものと考えております。なお、通常の廊下、EV、トイレ等については共用部分として算定しております。</p>
16	<p>【市民利用スペース関連】市民利用可能な会議室(1+6)が併設の場合、駐車場やロビーの混雑が予想されるが、対策を示すべきだ。</p>
回答	<p>現市民館側に、現在と同程度の駐車区画を確保することにしております。なお、ロビーの混雑は想定しておりません。</p>
17	<p>【市民利用スペース関連】新庁舎全体に係るランニングコストの試算と共に、市民利用スペースを多目的利用にする場合の管理運営体制やセキュリティの関係など、ランニングコストの試算を基本計画に示すべきだ。</p>
回答	<p>市民利用スペースの多目的利用については、設計の段階で、市民の皆様の利便性やコストを踏まえながら、管理運営体制やセキュリティを含め適切なあり方を検討してまいります。</p>
18	<p>【仮庁舎関連】建設時の仮庁舎に係る経費は、一体いくら位を想定しているのか。</p>
回答	<p>建物借上料については、平成26年度当初予算案に債務負担行為として計上し、議会の審議をお願いすることにしております。また、改修費等については、設計の段階で精査の上、平成27年度当初予算案に計上し、議会の審議をお願いしたいと考えております。</p>

19	<p>【仮庁舎関連】民間事業所を2年間借り上げる方針のようだが、どこを想定しているのか。また、それは一カ所に集約するのか。家賃だけでなく、帰ってこない巨額の設備投資、撤収費用等が短期間に発生するのではないか。(受電装置、通信設備、事務用品、リース物件、来客・公用車駐車場確保など)</p>
回答	<p>前回の委員会で説明しましたとおり、旧近鉄松下百貨店北館を仮庁舎として活用してまいります。御指摘のように、設備投資、撤収費用等が発生しますが、新たに仮設庁舎を整備するよりも安価であると考えています。市民委員会からも、事業費の節減のために、基本計画(案)P30に記載しておりますとおり、市の遊休施設で不足する場合の民間施設の活用について御提言をいただいていたものです。</p>
20	<p>【仮庁舎関連】県総合庁舎の空きスペースの借り上げは想定できないのか。電気通信工事、駐車場対策などで有利ではないか。</p>
回答	<p>県総合庁舎には、仮庁舎として利用できるスペースがないことから、候補から外し、検討を進めてまいりました。</p>
21	<p>【その他】市有林を含む森林財産の有効活用などで、内装建材に市内産木材を多用し、市役所の接客態度と共にぬくもりが感じられる新庁舎計画にすべきだ。</p>
回答	<p>基本計画(案)P17に記載のとおり、市内産木材の活用に努め、温もりのある庁舎づくりを目指してまいります。具体的な活用方法については、設計の段階でコスト等を勘案して決定してまいります。</p>
22	<p>【その他】出前トークで聞かれる聴覚障害などの様々な障害者に対する配慮要請はユニバーサルデザインという機能(ハード)だけでなく、職員力の醸成など(ソフト)が肝要だ。安心できる基本計画を明示すべきだ。</p>
回答	<p>市民満足度の向上を目指し、接遇研修等を通じて、ソフト面の啓発にも努めてまいります。</p>

■周南市庁舎基本計画(案)に対する会派の意見等及び市の考え方

(周南会)

整理 番号	意 見 等
1	<p>庁舎建設は、公共施設再配置計画との密接な関連性があると考えますが、基本計画にはその整合性が十分ではない。</p> <p>前回の委員会で別会派の議員から指摘があったが、市民館の他、勤労者福祉センターの廃止に伴う利用頻度などの対応是非が検討されていない。</p> <p>公共施設再配置計画での総合支所の規模、また支所への格下げも含めて、本庁舎の検討が行われていない。</p> <p>総合支所の機能が大きいほど、本庁舎は縮小してよく、総合支所・支所の機能を縮小すれば、本庁舎機能はより拡大しなければならないのではないか。</p>
回答	<p>市民館会議室については、新庁舎内に代替となる面積分の会議室を確保します。なお、その他の市民利用会議室については、新庁舎内を含め市全体として不足する状況にならないように考えてまいります。</p> <p>また、新庁舎の建設は、本庁機能を集約するものであり、総合支所・支所の機能の大小により影響を受けるものではないと考えております。</p>
2	<p>費用についての検討が不十分である</p> <p>最新の鳥取市との比較でも費用の差額が多すぎる。納得できる数値ではない。</p> <p>耐震補強などの数値も納得できない部分がある、すべてにわたる説明の不合理的を解決する必要がある。</p>
回答	<p>事業費の約9.4億円については、これまで議会で説明しておりますように、基本構想・計画段階での概算として試算したものです。今後、設計の段階で、庁舎像の具体化を進めるとともに事業費についても精査してまいります。</p> <p>耐震性については、第2次耐震診断において第三者機関の評価を受けており、診断結果は正当なものであると考えております。</p>

<p>3</p>	<p>東日本大震災からの復興計画、及び東京オリンピックによる国の計画との整合性が検討されていない。</p> <p>現在も建築資材の高騰が続いており、ものによっては倍にも3倍にもなっている。公共事業の縮小も続き、技術者、現場技能者などの専門家が少なくなってきたおり、突然の想定外の国内事業はこれから多くの困難を抱える。それらを考慮した計画が求められる。</p> <p>一方地元でどれだけの仕事が可能なのか、地元がどれだけ潤うのかは重要な要素である。将来に大きな負債を残す事のないよう、建設時期も含めて十分に検討する必要がある。</p>
<p>回答</p>	<p>基本計画（案）P32に記載しておりますように、事業を進める中で、経済状況等を踏まえた事業費等の調整をしております。</p> <p>地元業者の活用については、十分配慮して進めてまいります。</p>
<p>4</p>	<p>出前トークでの意見を箇条書きでよいから提出するとの委員会での決定事項は、各会派での検討に欠かせない。これらの意見を慎重に検討して、計画に反映できるよう、もっと丁寧な作業が必要であると考えます。市民の意見をしっかりと計画に反映することは非常に大切である。</p>
<p>回答</p>	<p>出前トークでは、新庁舎に導入する機能についての具体的アイデアを市民の皆様から提言していただいております。これらの御意見は、設計の段階で検討することとしております。</p>

■周南市庁舎基本計画(案)に対する会派の意見等及び市の考え方 (公明党)

新庁舎建設について会派公明党としては、大要次の3点を柱とする提案・提言を行ってきたところである。

まず1点目に、現庁舎の老朽化・耐震強度の不安等から、防災中枢拠点機能確立の必要性である。

万が一の災害時、市民等の救済・援助、また復旧復興の司令塔として、その役割が担えるか担えないかで、被災後に天地の差が出ることは東日本大震災の被災現地で学んだことである。

2点目として、来庁者の市民の側に立った視点から、ハード面でいえば「ユニバーサルデザイン」、ソフト面でいえば「ワンストップサービス」の提供である。当然このことの実現のためには、分散している庁舎機能の集約も必然である。

3点目として、環境負荷軽減のエコロジー庁舎として、省エネ対策のオピニオンリーダー的役割を果たすこと。

このことがまた、長い目で見ればコストパフォーマンス（費用対効果）にも大きく影響するものと考ええる。

以上の点をしっかり取り込んだ今回の周南市庁舎建設基本計画(案)に対しては、取りまとめ頂いた「周南市庁舎建設検討市民委員会」のメンバーの方々に深く敬意を表するものである。

そのうえで、この指針ともいふべき案に基づき進められるであろう基本設計・実施設計策定の課程の中で、留意していただきたいと思うことについて2点、意見として申し述べたい。

整理番号	意見等
1	建設コスト（イニシャルコスト）にこだわるあまり、維持管理経費（ランニングコスト）が割高になったり、ましてや、上記3点を含めた、機能そのものが中途半端にならないよう、コストの裏付けに対する説明責任をしっかりと果たして頂きたい。
回答	設計の段階における具体的導入機能の検討に当たっては、コストだけでなく、安心・安全の確保、利便性向上、環境配慮実現等の視点が重要であると考えております。こうした考えに立ち、議会の御意見をお伺いしながら、長期にわたり親しまれ、私たちのまちを支える庁舎を実現するために庁舎建設を進めてまいります。

2	公共施設の再配置（総量抑制）の観点、特に本庁周辺公共施設との機能の整合性を図るための横の連携強化を主とする横断的な組織機構の確立を望む。
回答	御提言の趣旨を踏まえ、適切な組織のあり方について検討してまいります。

いずれにしても、市民の理解を得、期待に応えるために、市民との往復作業、いわゆるツウウェイ方式での進捗を堅持していただきたい旨を申し添えて、会派意見とする。

■周南市庁舎基本計画(案)に対する会派の意見等及び市の考え方 (刷新クラブ)

整理 番号	意 見 等
1	<p>【新庁舎の機能】(キッズコーナー/キッズスペースについて) ミニ保育園(子ども一時預かり)のようなものを検討する必要があるのでは？</p>
回答	<p>基本計画(案)P5に記載しておりますキッズコーナー/キッズスペースについて、設計の段階で、見守り体制、設置場所等を検討してまいります。</p>
2	<p>【新庁舎の機能】(情報交流機能について) 中央図書館や新駅ビルなど他施設との機能分担を考慮すべきである。</p>
回答	<p>御提言を踏まえ、他施設との適切な機能分担を図ってまいります。</p>
3	<p>【新庁舎の機能】(ヘリポートの設置について) 徳山小学校や代々木公園を臨時ヘリポート予定地とすることができれば、ヘリポートは必要ないが、不可能なら建設費用を考慮して検討は必要と考える。 (もっとも近いヘリポートは周南緑地となっている)</p>
回答	<p>ヘリポートについては、設計の段階で、設置の必要性について十分検討してまいります。</p>
4	<p>【新庁舎の機能】(市民協働・交流機能) 行政機能部分と利用者、利用時間が異なるため、施設分離できる構造が必要である。</p>
回答	<p>御提言のとおりであると考えますので、設計の段階で十分検討してまいります。</p>

5	<p>【新庁舎の機能】（文書管理について） 文書管理、ペーパーレス化を実現するためにはセキュリティ、閲覧権限のしくみが確立されている必要がある。</p>
回答	<p>御提言は将来の文書管理、ペーパーレスの理想形として、検討し続ける必要があると考えますが、機能やコスト等を総合的に勘案しながら、適切な文書管理、ペーパーレスの仕方や仕組みづくりに取り組んでまいります。</p>
6	<p>【新庁舎の規模】（導入機能と面積） 新庁舎の機能として挙げられている全ての機能を入れると延べ床面積20,000㎡で収まるのか。</p>
回答	<p>基本計画（案）に挙げている機能は、設計の段階で、床面積及びコスト、市民の皆様の利便性、行政サービスの効率性などについて、特別委員会の御意見をお伺いしながら、取捨選択してまいります。</p>
7	<p>【全体】 デザイン重視ではなく、市民に利用しやすく、快適な庁舎が大前提である。</p>
回答	<p>御提言のように、市民の皆様の利便性、快適性が大前提であると考えています。その上で、周南らしさを表現するようなデザインを検討してまいります。</p>

■周南市庁舎基本計画(案)に対する会派の意見等及び市の考え方 (アクティブ)

整理 番号	意 見 等
1	<p>基本設計と実施設計が一括発注されるとのことだが、そうすると議会としてどのタイミングで意見を出せるのかが見極めにくくなる可能性がある。</p> <p>また、落札業者は1社であるから基本設計を進めていくうちに、コンクリートされた部分についてはそこから実質的には実施設計が始まるかもしれないなどの、基本設計と実施設計の壁がなくなるというメリットと危惧の両面が予測できる。</p> <p>一案として月に1度とか定期的な執行部からの報告など、どうしたら議会側で適時適切な関わりが持てるかの研究が必要と考える。</p>
回答	<p>基本設計の段階で、設計の進捗に応じ、庁舎像を具体化する過程の節目節目において、特別委員会の御意見を伺いながら進めてまいります。</p>
2	<p>庁舎検討にかかわる兼務職員が30人近くおり、3つのグループで動いていると聞く。そのワーキンググループについても適時議会側に報告を受けたい。</p>
回答	<p>兼務職員は、通常業務の中で、導入機能について検討を行っており、来年度も引き続き検討することとしております。その検討状況については、適宜、特別委員会に報告してまいります。</p>